

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 目的妥当性評価 | ①政策体系との整合性<br>・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか?<br>・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?                        | <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある<br>相談支援は、障がい者の自立と社会参加の支援に結びつく。  |
|         | ②公共関与の妥当性<br>・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか?<br>・税金を投入して達成する目的か?                                   | <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある<br>障害者自立支援法に定められているので、公共関与は妥当である。   |
|         | ③対象と意図の妥当性<br>・対象を限定・追加すべきか?<br>・意図を限定・拡充すべきか?   | <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある<br>すべての障がい者とその家族を対象としているので、適切である。 |
| 有効性評価   | ④成果の向上余地<br>・成果を向上させる余地はあるか?<br>・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか?<br>・何が原因で成果向上が期待できないのか?              | <input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある<br>障がい者及び家族等に対し十分に周知している事業なので、これ以上の余地はない。                                |
|         | ⑤廃止・休止の成果への影響<br>・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?  | <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない<br>障害者自立支援法に基づく事業であるので、廃止・休止はできない。   |
|         | ⑥類似事業との統合や連携の可能性<br>・他に、類似の形態の事務事業はないか?  | <input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない   |
|         | ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?   | <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない  |
| 効率性評価   | ⑦事業費の削減余地<br>・成果を下げずに事業費を削減できないか?<br>(仕様や工法の適正化、住民の協力など)                                     | <input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある<br>最小限の経費で実施しているので、これ以上の削減余地はない。   |
|         | ⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地<br>・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?<br>・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか<br>(アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある<br>最小限の人員で事務処理しているため、これ以上の削減はできない。                                       |
| 公平性評価   | ⑨受益機会・費用負担の適正化余地<br>・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?<br>・受益者負担が公正・公平になっているか?                       | <input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある<br>すべての障がい者とその家族を対象としているので、公平・公正である。                                   |

## 3. 改革・改善方向の部

|  |  |                  |
|--|--|------------------|
| (1) 改革の方向性（改革案・実行計画）                     | <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 | (3) 改革・改善による期待成果 |
| (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ |  |                  |

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

|                           |   |                  |
|---------------------------|---|------------------|
| (1) 1次評価結果の客観性と出来具合       | <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える   | (5) 改革・改善による期待成果 |
| (2) 2次評価者としての評価結果         | ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり                        |                  |
| (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 | <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充<br><input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善<br><input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大<br><input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） |                  |
| (4) その他2次評価会議で指摘された事項     |   |                  |